

古高松コミュニティ協議会 広報紙

創刊号



久本古墳 高松市新田町甲2009番地

古高松コミュニティ協議会

会長 竹本 知孝

毎日暑い日が続きますが、皆様には元氣でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

皆様には、日ごろからご多忙のなか清掃活動や各種行事のお手伝いにご尽力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、当地区の新たな組織としまして昨年9月、古高松コミュニティが発足しました。

コミュニティは、近年の社会情勢の変化で生じる、地域の抱える多種多様の問題を、行政ではなく地域自らが解決していくうえで、その基盤となる組織であります。

発足後の活動として、コミュニティセンター建設の要望を行ってまいりました。

今は建設場所も決まり、地元の要望を取り入れた設計へと進展しています。

今後の活動は、人々の生きがいとふれあいのまちづくり、福祉と安全安心のまちづくり。そして子供たちが健やかに育つまちづくりのために、各種団体との連携・連帯を図りながら努力してまいります。

住民の皆さんにも積極的な参加を頂きますよう、古高松コミュニティへのご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさつとします。

ニティを発展させるために（協議会から）

古高松地区コミュニティが発足しました

コミュニティとは地域の人々が自主的に参加し、総意と協力により、住みよい地域社会をつくることを目的として構成された集まりで、よりよいまちづくりを進めるための重要な基盤となります。

背景として、平成十年五月の地方分権推進計画策定、平成十二年四月の地方分権推進一括法の施行があります。住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、新たな自治の仕組みづくりが求められました。

今まで、地域には自治会をはじめとして各団体が地域社会を支えていました。ところが近年の都市化や核家族化の進展などにより地域内の連帯感が薄れ、自治会加入率も低下傾向で、自治会などでは全域をカバーできなくなっています。

これからは地域の各団体やボランティア等が協働し、柔軟に機能することが重要で、その機能をよ

り強化していく必要があります。

その活動拠点は今ある公民館をコミュニティセンターとして利用するとされています。

豆知識

「コミュニティ」とは？

ラテン語の「コモ・ニテ」が語源。

意味は「コモ」が「共に・一緒に」、「ニテ」は「守る事」です。

どんなんでけるんな？

古高松コミュニティセンターの基本設計をまとめようと、急きょ7月19日の『海の日』に、古高松公民館でワークショップが開かれた。

それまでワークショップを何回も開き、地域の意見を要望しており、それが図面化できたため。

古高松コミュニティ
センターの施設概要（案）

敷地面積	2,000㎡
駐車場（屋上）	26台
〃（一階）	11台
〃（身体障害者等）	1台
建物面積	690㎡
大ホール	150㎡
小会議室×2	33㎡×2
調理室	54㎡
多目的プレイルーム	33㎡
事務室（公民館）	40㎡
事務室（出張所）	40㎡
コミュニティスペース	できるだけ広く
身体障害者便所	1カ所

おおまかな平面図ではあるが、今までの概念をこえた、他の公共施設にもない地元の要望が多く取り入れられている。

まず、今の古高松公民館の利用経験から、新しい施設は平屋造り。また、土地を有効利用しようと屋根が駐車場になる。

建物が周辺に及ぼす影響として、日陰や騒音などがあるが、それらを解消できて、一石二鳥だ。

今は、行事が二階で行われ、お年寄りや足腰の弱い方に迷惑をかけている階段も、新しい施設では無くなる。（駐車場を除く）

図面には主要な部屋の配置と広さも記され、よく見ると会議室が増えている。

細部の設計はこれからだが、公共施設として、すべての利用者の安全と、使いよさを一番に考えてほしい。

あたらしくスタートした古高松コミュ

古高松コミュニティ

生涯学習部会

担当 内海 重雄

地域住民の生涯にわたる学習は、
 昨今、各種のイベントや情報通信
 を活用した生涯学習活動などで、
 ずいぶん幅広くなされています。

古高松地区においても、公民館
 講座や同好会活動をはじめ各種団
 体主催によって、老若男女にあわ
 せた活動は多種多様で幅広い内容
 で実施されています。

人は、何らかの目的を持って、
 自分の得意とするものに取り組み
 ことによって優れた技が磨かれ、
 生きがいを感じるものです。

そして発表の機会を重ねるた
 び、より高い目標が生まれ、生き
 がいも大きくなるのです。

コミュニティセンターは、私た
 ちの身近な生活文化の活動拠点で
 あります。

身近な文化の見直しや芸術活動
 を育むためにも、コミュニティセ
 ンターをおおいに利用したいもの
 です。

古高松連合自治会・

衛生組合連合会

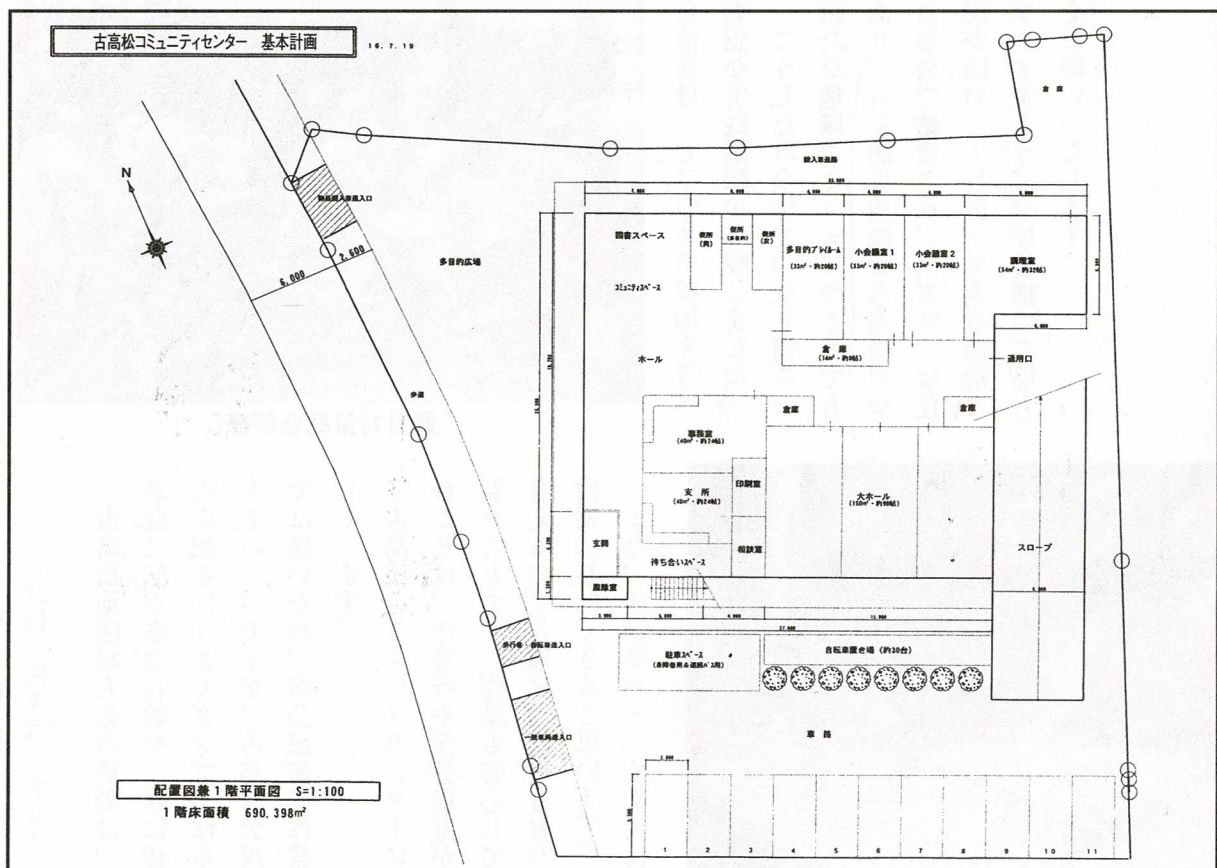
主行事担当 加藤 直之

いままで連合自治会環境・衛生
 部によって「自らの手で住みよい
 まちづくり」をテーマに、毎年十
 二月の第一日曜日を、「古高松地区
 内の河川等一斉清掃日」と定め、
 年間のメイン事業として取り組ん
 できました。

事業内容は、皆さんの積極的な
 参加のもと、各自治会の担当区域
 で、缶・びん類のほか投棄ゴミ等
 を収集しており、美しい郷土・環
 境づくりを図っています。

一方、婦人会の行なっているク
 リーン作戦への協力や、校区体育
 協会主催行事にも協力をし、私た
 ちのより良い暮らしづくりを目指
 しています。

今後のコミュニティの組織作り
 には、これまでの事業の成果を基
 に、より一層連携・連帯を深め、
 「ふるさと古高松」の環境美化に
 みなさんと一緒に取り組んで行こ
 うと思います。



ニティに期待します（構成団体から）

古高松防犯協会

会長 多田 通夫

古高松防犯協会は、自治会のみ
なさんの協力で運営されています。
地区住民が安全安心な生活をお
くるためには、住民全体で情報を
交換し協力し合うことが大切です。
おもな活動に、地区内の児童生
徒の登下校時や行事の時に、P T
A役員と町内を巡回し、子供たち
の安全を見守っています。

最近では、青少年の非行防止を目
的に、催し物会場や公園などを、
また、水難事故を未然に防ぐため、
ため池や河川の危険な場所も巡回
しています。



町内パトロール中

また、県（15年12月県報など）
や市、および報道機関を利用し、
防犯の広報活動をしています。

今後、行政機関や関係団体との
協力体制を強め、「安全安心なまち
づくり」のために、さらに幅広く
取り組もうとしています。

皆様の御協力をお願いします。

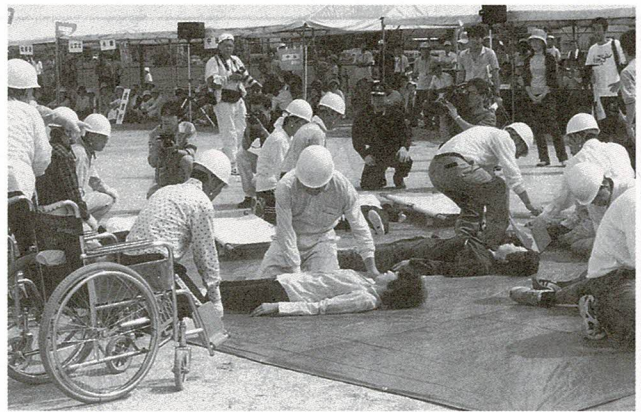
古高松地区自主防災連合会

会長 加藤 直之

自分達の生命と財産は自分達で
守る。これが私達自主防災連合会
のテーマです。何時起きるか判ら
ない災害に備えての組織作りは、
ややもすると消極的になりがちで
すが、地震災害に限らず、火災や
台風災害等は、常に私達の近辺で
も起こる可能性があります。

地域防災力が命を救う。古高松
地区の自主防災会の結成状況は、
現在三十、三千二十五世帯と年々
増加し成果をあげています。

そして、昨年8月31日には「平
成15年度高松市震災対策総合訓
練」が古高松中学校で開催され、



震災対策総合訓練

自治会員一七〇〇名の参加を得、
貴重な実践訓練を体験しました。
こうした町全体での取り組みは、
新たな地域コミュニティづくりでも
あり、自主防災組織が古高松の全
自治会で結成され、災害時には住
民が協力して行動ができる組織と
なりますよう、ぜひ皆様のご協力
をお願いいたします。

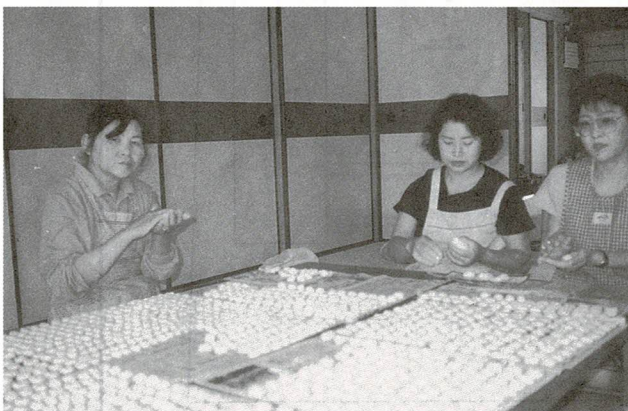
古高松地区婦人会

会長 佐々木 ナミエ

古高松地区婦人会の活動は、敬
老会に配る廃油石鹸や、春に皆さ
んに配るほうさんダンゴを作るの
もその一つですが、古高松公民館
では狭いため、南公民館で作業を
しています。

古高松コミュニティセンターに望
むことは、作業所や保管場所が必
要なことです。作業も安心して行
なえるので各地区の役員も奮って
作業に参加できると思います。

また、活動拠点として次世代へ



ほうさんダンゴ作り

あたらしくスタートした 古高松コミュ

引き継ぐことができます。

「もったいない作戦」で不用品の再利用を図り、年3回の「クリーン作戦」を実行しながら、環境・衛生問題に取り組むことで、地区住民の皆様にお役に立てることを誇りに思います。

新しいコミュニティセンターを『私たちのまちづくり』のために、有効に活かそうと思います。

古高松地区保健委員会

会長 植村 道子

古高松地区保健委員会は、献血推進協議会と食生活改善協議会も持った組織です。

地区住民の健康増進をはかる目的で活動しています。

私達は健康について、年齢層で違いはありますが、病気になるないう、また、病気のかたは悪化させずに付き合おうと常に関心を持っておりま。

保健委員会では、今年も健康ウォーキング・虫歯予防・高脂血症予防教室等健康講座や、健康料理

教室を計画しています。

去年のウォーキングは23人の参加がありとても好評でした。今年も頑張つて歩きましょう。

また、献血推進運動も重要な活動のひとつです。血液も新鮮であればあるほどいいのです。

この献血運動でどれだけの人か助かるかと思うと、たいへん意義あるものと痛感致し、声をかけるのにも力が入ります。

「献血は皆の好意で生きるもの」



健康ウォーキング

日赤奉仕団古高松分団

会長 高井 喜和子

5月の社資募集や年末たすけあい募金では、地域の皆様のご協力を頂き厚く感謝します。

日赤奉仕団の活動は募金活動だけでなく、日赤病院や献血ルームの手伝い、地域の清掃奉仕、防災訓練での炊き出し、防災や人工呼吸法、「セラピューテックケア」癒しを目的とした手先と肩まわりのマッサージの講習会を開いています。

これからも多くの方に参加を頂き、講習会や練習会を開きたいのですが会場の確保が大変です。一回三十人位の方が利用できる場所。そして、備品や書類を収納できる団体独自のロッカーも必要ですね。

これからの地域が抱える問題に老人看護や家庭看護がありますが、その講習も、と思っています。

教材として介護ベッドや車いすも必要と考えます。利用しやすく、設備の整ったコミュニティセンターを切望します。

他の団体活動の写真です。



社会福祉協議会の老人給食会



交通安全推進協議会キャンペーン

みんなできよりよい古高松を目指しています

四國新聞から

(平成16年 7 月 4 日朝刊の記事の内容です)

コミュニティセンター建設用地を決定

地域コミュニティの構築を目指す高松市で、古高松地区のコミュニティセンターが高松町の県道沿いに建設されることが三日決まった。

地域住民は今後、同センターを拠点とした地域活動のあり方について検討を進める。

同日開かれた古高松コミュニティ協議会（竹本知孝会長）の二〇〇四年度総会で建設場所の選定を盛り込んだ本年度事業計画を承認した。

同センターは古高松公民館から南二百坪の民有地。敷地面積は同公民館の二倍の二千坪、建物も一・五倍の七百坪になる計画。

同協議会は八月をめどに整備構想を市に提案。市は実施計画を進める一方土地を取得する。開館は二年後の二〇〇六年四月を予定している。

この日の総会では、同協議会の組織構成も確認。地域の各種団体が「生涯学習」「福祉」「青少年育成」など六部会に別れ、地域コミュニティプランをまとめる。

高松市では、〇六年度までに市内全地域で地域コミュニティ組織を立ち上げ、全公民館をコミュニティセンターへ転用することを目指しており、現在、十八地区で組織が結成されている。

平成16年度

古高松コミュニティ協議会役員名簿

役員名	氏 名	所 属 団 体
会 長	竹本 知孝	連合自治会
副会長	多田 通夫	防犯協会
〃	加藤 直之	自主防災連合会
〃	佐々木 ナミエ	婦人会
〃	前田 峻司	民生児童委員協議会
理 事	澤井 喜好	公民館建設準備委員会
〃	池内 好一	連合自治会
〃	内海 重雄	連合自治会
〃	加藤 豊	古高松校区体育協会
〃	高井 喜和子	日赤奉仕団古高松分団
〃	藤本 豊	老人クラブ連合会
〃	久保 洋	消防分団
〃	上枝 基一	J A 地区代表（総代）
会 計	加藤 昭	連合自治会
書 記	上原 好一朗	古高松中学校PTA
監 事	長町 隆司	青少年健全育成連絡協議会
〃	平田 明美	更生保護女性会

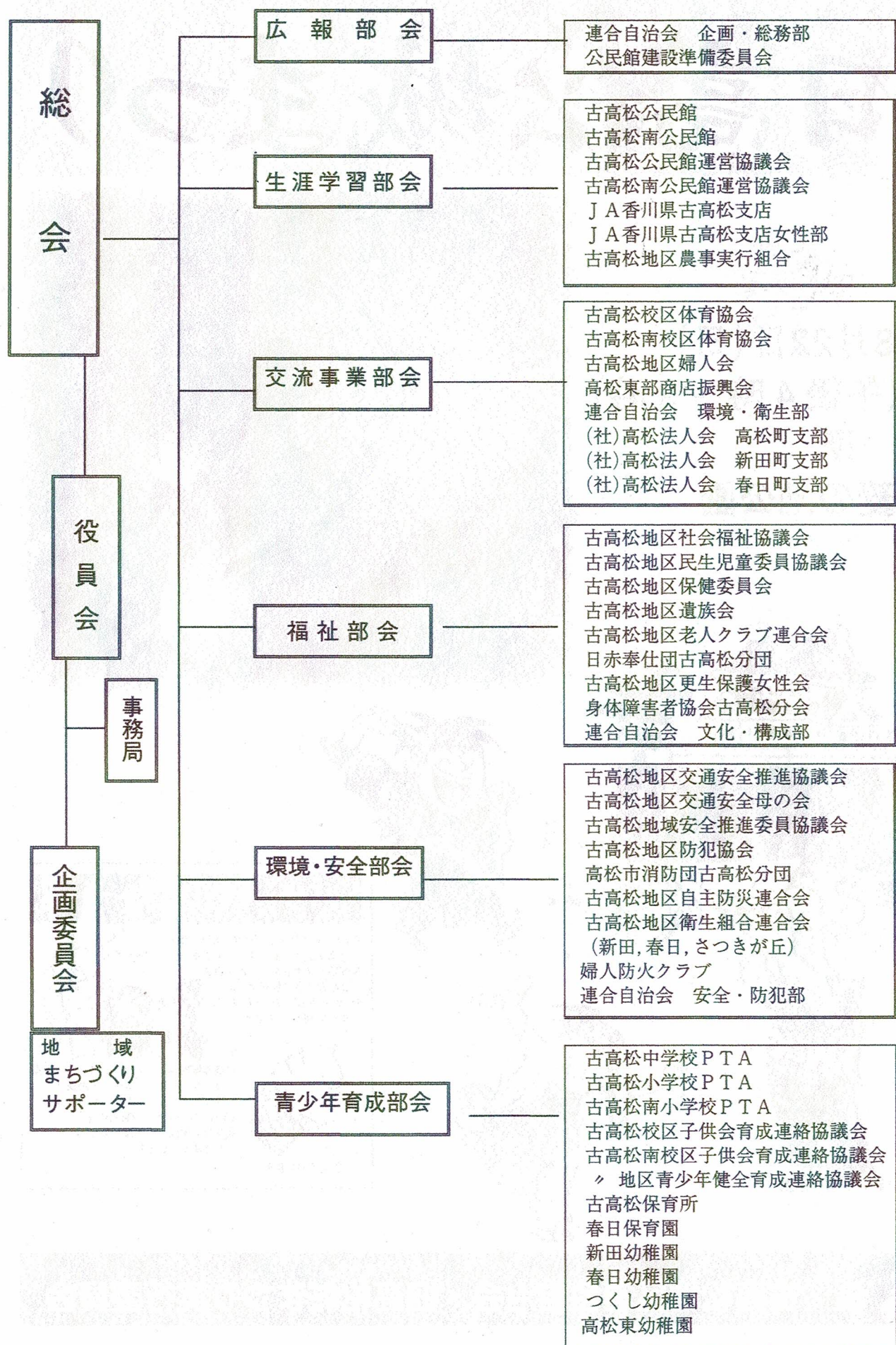
事務局の所在と連絡先

古高松公民館	高松町 2581-2	841-6261
古高松南公民館	春日町 782-2	841-2186

御意見を募集

みなさんの御意見や地域の提案などを広く募集しております。また、コミュニティ広報紙の情報についてもお寄せ下さい。（できれば手紙かはがきで）詳しくは上記事務局まで。なお、広報紙は残念ながら経費等の関係もあり、当分の間、年二回の発行を目指しています。

古高松コミュニティ協議会組織図



地域ふれあい交流事業 平成16年度 古高松地区

ふる たか まつ じょう

旧高松城まつり

日 時

8月22日(日)

(午後4時～9時)

場 所

菱の池公園



バザー・夜店コーナー

PTA かき氷・生ビール・ポップコーン
フランクフルト・フライドチキン・ポテト
少健連 ソフトクリーム・金魚
こども育成会 各種ゲーム
サッカー少年団 スーパーボールすくい
ヨーヨー釣り・不用品バザー



売り切れ御免!!

古高松婦人部 むすび・おでん・うどん
ビール・お茶・ジュース・焼鳥り
フランクフルト・不用品販売
JAふれあい市場 青果物直売
高松町青年部 焼そば・生ビール
わた菓子・かき氷

主 催 古高松地区連合自治会・旧高松城まつり実行委員会